

第5回ものづくり APS 推進機構 PSLX フォーラム技術委員会 議事録

日時：2007年3月15日（木）10：00～18：00

場所：製造科学技術センター（MSTC）第一会議室

出席者（敬称略・順不同）

西岡靖之（法政大学）、児玉公信（エクサ）、松川信也（日立製作所）、王喜宏（富士電機システムズ）、
原田騎郎（オージス総研）、川内成宏（プロセス経営研究所）、高橋達也（横河電機）、
芝尾紘一（エー・アイ・イー研究所）、河内伸仁（岩井機械工業）、山本明人（光電製作所）、
岡宗秀一（製造技術科学センター）、杉修（法政大学）、馬場祐人（書記・法政大学） 13名

資料

- [1]第4回 PSLX コンソーシアム技術委員会 議事録
- [2]Part3(業務オブジェクト)修正方針（手書き 3ページ）
- [3]PSLX 標準仕様パート3 業務オブジェクト 技術部会検討用資料
- [4]PSLX バージョン2 第4部：APS ドメインオントロジ Working Draft - Version 6 - (2007/03/12)
- [5]PSLX 技術仕様 XML スキーマ用 業務オブジェクト 技術部会検討用資料
- [6]PSLX 標準仕様パート6 RDB スキーマ用 ドメインオブジェクト 技術部会検討用資料
- [7]PSLX バージョン2 第6部：RDB スキーマ Working Draft - Version 7 - (2007/03/15)
- [8]PDC(A)サイクルモデルの提案

議事内容

(午前)

(1) 本日の議事内容の確認

※[1]前回委員会および OASIS アドホック会議の議事録が確認された

※今回委員会でパート4のオントロジの内容を踏まえ、パート3の内容を反映することが確認された

(2) IML 2007チュートリアル報告およびOASIS PPS仕様の進捗報告

※IML2007(2007/2/26)での講演資料より OASIS PPS 仕様の構成についての再確認された

(3) パート4（ドメインオントロジ）H18版の完成

※前回委員会からの変更点およびパート4の全体の内容について確認された

- ・ [4]p.18 PSLX ドメインオントロジと PSLX 業務オブジェクトモデルの役割と位置付けについて
- ・ [4]p.39 実装スキーマ、オブジェクトの等価変換の章が削除された点について

※業務オブジェクトモデルについて

検討資料[2][3]のクラス図を元に業務オブジェクトモデルの生成手順とその内容について議論された

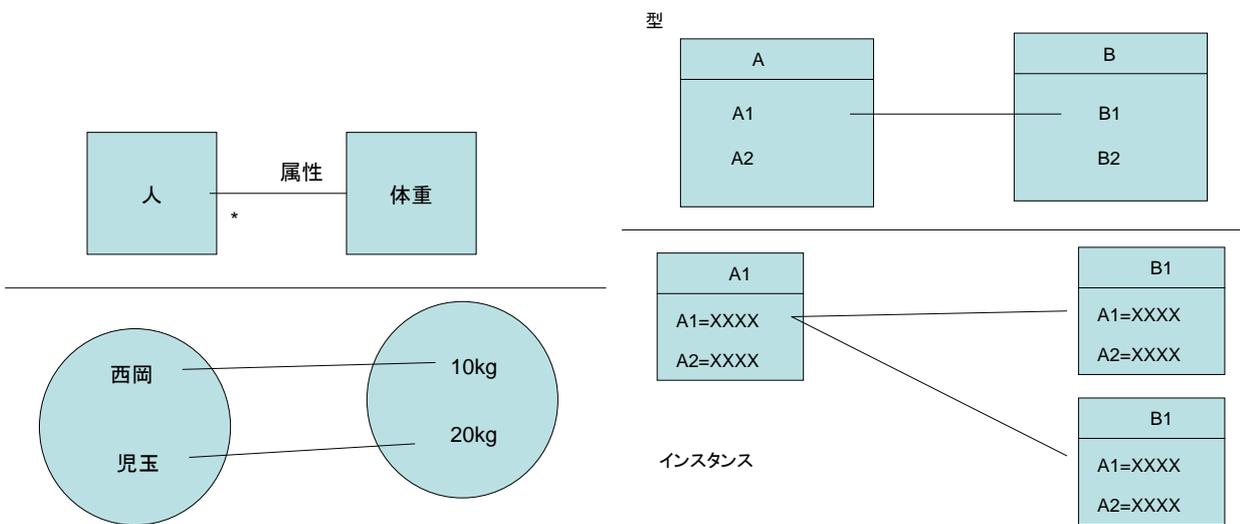
- ・ [2]p.2 について、各レベルにおける資源・プロセス・生産品目・オーダの図が複雑なため本質を変えずに、それぞれ個別に図で表現することにした点など

※Part3 p.9 表 3-1 資源とプロセスの階層について、以前議論した内容を踏まえて業務オブジェクトモデルを再検討する必要があるという意見が出された

(午後)

※業務オブジェクトの定義方法について

- ・ [4]p.16 図「データモデルとの関係」について、型とインスタンスの区別がなくなったため、分かり難くなったという意見
 - 上側で型を表す図で属性の関係を表すのであれば、下側のインスタンスの図でもリンクの関係を表す必要があるという意見
- ・ 型とインスタンスの区別、役割について
 - インスタンスは、立場によって型となることがある場合があるという意見が出され、型とインスタンスの区別について議論された
- ・ 属性の値が決定しているものはインスタンス。属性の値が一つでも確定していないものはクラス
 - 値が確定しているものがあればインスタンスではないのか？ということについて議論された。オブジェクト指向モデルにおけるクラスではないという意見



※オブジェクト指向のモデリングについて

- ・ [4]p.15 図「情報モデルの構造」 オブジェクト指向モデリングの考えに従った表現で説明するか、広い意味でのオブジェクト指向で考えて表現するかどうかについて
 - ・ 一般的なオブジェクト指向モデリングと対比して、あえてオブジェクトという言葉を使って図を表現すると、オブジェクト指向を理解している人からすれば、混乱するという意見
 - ・ 児玉さんのオントロジの位置づけの図より、メタプロトコルの必要性について議論された。メタプロトコルをオブジェクトモデルで定義できるかなどの点について
- 今回の議論で確認できた内容をもとに内容をさらに検討することが確認された

※[3]業務オブジェクト検討資料

- ・ [3]p.4 生産品目について、品目は仕様であるのでのロールは品目ではなくロットに入れるべきであるという意見が出された

(4) パート5 (XMLスキーマ) H18版の完成

※Part3 の業務オブジェクトの内容を踏まえ、検討資料[5]をもとに XML スキーマの内容について検討された

→Part3 と英語/日本語表記の異なる部分など、編集の必要がある点について確認された

(5) パート6 (RDBスキーマ) H18版の完成

※[6]RDB スキーマについてクラス図の内容が説明され検討された

- ・ RDB スキーマの各テーブルの構成について、スキーマのキーは、ID の関係でなくプライマリキーの関係で表すべきであるという意見が出された
- ・ その他内容について確認された

(6) PSLXフォーラムに向けて

※7月前半予定のフォーラムに向けて、委員からの意見や要望を聞き、検討された

次回予定

2007年4月23日(月) 13:00～ 第5回 アドホック会議(PPS ジョイント)

2007年5月21日(月) 10:00～ 第6回 PSLX技術委員会

以上